

## ▼チバセレン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ベナゼプリル塩酸塩 (U) benazepril hydrochloride 【分類】 アンジオテンシン変換酵素阻害剤

【単位】 ▼2.5mg・▼5mg・▼10mg/錠

【常用量】 5～10mg/日 [高齢者では2.5mgから開始]

【用法】 分1

【透析患者への投与方法】 減量して慎重投与 (1)

【その他の報告】 25～50%に減量 (3,17)

【PD】 25～50%に減量 (17)

【CRRT】 75%に減量 (17)

【保存期CKD患者への投与方法】 Cr<math>30\text{mL}/\text{min}</math>以下やScr<math>3\text{mg}/\text{dL}</math>以上では減量するなど慎重投与 (1)

【その他の報告】 GFR>50mL/min : 減量の必要なし, GFR 10～50mL/min : 50～75%に減量, GFR<math><10\text{mL}/\text{min}</math> : 25～50%に減量 (3)

GFR 10～50mL/min : 75%に減量, GFR 10mL/min 未満 : 25～50%に減量 (17)

【特徴】 加水分解により活性代謝物であるジアシド体 (ベナゼプリラート) に変換されるACE-I.

【主な副作用・毒性】 咳, めまい, ふらつき, 血管浮腫, 急性腎不全, 高K血症, 血球減少, 肝障害, 消化器障害など

【モニターすべき項目】 血圧, 血清K, 腎機能

【F】 37% (U)

【tmax】 未変化体0.5～1hr, 活性体1～1.5hr (U)

【代謝】 肝で代謝されたベナゼプリラートが活性体 (U)

【排泄】 活性体は主に尿中から排泄される (U) 胆汁排泄経路の寄与は11～12% (U) ベナゼプリラートとして20%が尿中排泄 [72hrまで] (1) 尿中排泄率18% [活性体として] (17)

【CL】 腎CL22.7mL/min (1)

【蛋白結合率】 未変化体96.7%, 活性体95.3% (U) 未変化体96.2%, 活性体91.4% (1)

【Vd】 28.4L/man (1)

【MW】 460.95

【透析性】 ごくわずか (U) ベナゼプリラートの除去率5.8% (1)

【O/W係数】 1.33 [1-オクタノール水系, pH7.0] (1)

【相互作用】 アリスキレンを投与中の糖尿病患者には原則禁忌 [非致死性脳卒中、腎機能障害、高カリウム血症及び低血圧のリスク増加が報告] (1)

【更新日】 20151130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。